

12月26日（木）

わたしは常に一いっさいの条件なしに、惜しみなく与えつづける贈り物だ。

無条件の愛というのは、あまりにも急進的な概念なので、もっとも敬虔なクリスチャンでさえ、十分に意味を理解できずにいる。

天にも地にもひとつとして、わたしがあなたを愛することをとめられるものはない。

あなたは、自分の期待どおりの行動ができるときは、わたしにもっとも愛されている“感じがする”かもしれない。

けれど、わたしのあなたへの愛は完全だから、変化することはない。

“変化する”のは、わたしの愛に対するあなたの意識なのだ。

自分の行動に満足できないとき、あなたはわたしの愛に値しないと思いこみやすい。

あなたはわたしから身を引き、わたしと距離ができたのはわたしが怒っているせいだと考えて、無意識に自分を罰しようとするかもしれない。

こうして、愛が私たちにとって全うされました。ですから、私たちはさばきの日に確信を持つことができます。この世において、私たちもキリストと同じようであるからです。

I ヨハネ 4:18

愛には恐れがありません。全き愛は恐れを締め出します。恐れには罰が伴い、恐れる者は、愛において全きものとなっていないのです。

申命記 33:27

いにしえよりの神は、住まう家。下には永遠の腕がある。神はあなたの前から敵を追い払い、『根絶やしにせよ』と命じられた。

詩篇 13:5

私はあなたの恵みに拠り頼みます。私の心はあなたの救いを喜びます。